

ALESIS
— D R U M S —

DEBUT KIT

ユーザーガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器をしようしないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 主電源プラグまたはアダプターをコンセントからいつでも抜ける状態にしておいてください。
17. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
18. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
19. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。



このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプタのアース線を接地してご使用ください。

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階

[Web] inmusicbrands.jp

[サポート] www.inmusicbrands.jp/support

ユーザーガイド

はじめに

同梱品

Debut ドラムラック

- Debut サウンドモジュール（装着済）
- 6 インチ（15.2 cm）ドラムパッド x4（装着済）

シンバルパッド用ポール x3

10 インチ（25 cm）シンバルパッド x3

ハイハットペダル

キックペダル

スネークケーブル

Debut サウンドモジュール用電源アダプター

ドラムスティック

ドラムスローン

ヘッドホン

ドラムキー

マジックテープ

ユーザーガイド/保証書（本書）

サポート

本製品に関する最新情報（システム要件、互換性情報など）および製品登録は alesis.com をご参照ください。

サポート情報は alesis.jp/support/ をご参照ください。

組み立て方

1. Debut ドラムラック、シンバルパッド用ポール、シンバルパッドを箱から取り出します。

図のように、Debut ドラムラックを水平な面に設置します。



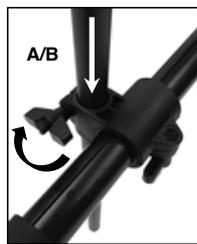
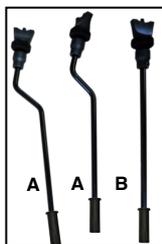
2. Debut ドラムラックの脚を図のように広げ、各ラックアームのジョイント部分を緩めます。

必要であれば、お好みに合わせて Debut サウンドモジュールの角度を変えてください。

Debut ドラムラックが完全に開いた状態で各ラックアームのジョイント部分をきつく締めます。



3. 図のようにシンバルパッド用ポールを Debut ドラムラックのクランプに差し込み、ジョイント部分をきつく締めます。



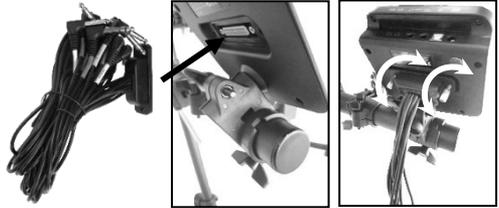
4. 各シンバルパッド用ポールからウイングナットとワッシャーを外し、シンバルパッドを設置します。

シンバルパッドの上からウイングナットとワッシャーを取り付け、きつく締めます。



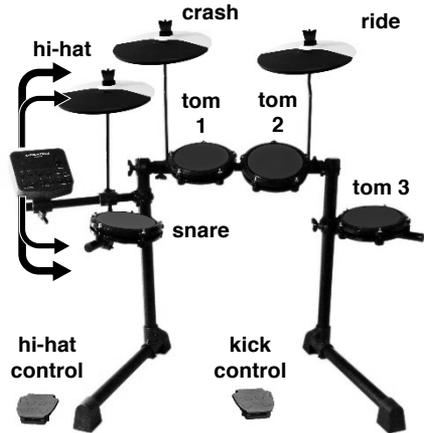
5. スネークケーブルを図のように Debut サウンドモジュールの端子に接続します。

スネークケーブルの 2 本のネジをきつく締めます。



6. Debut サウンドモジュールに接続したスネークケーブルから派生したケーブルを、ラベルの表記に従いドラムパッド、シンバルパッド、フットペダルに接続します。

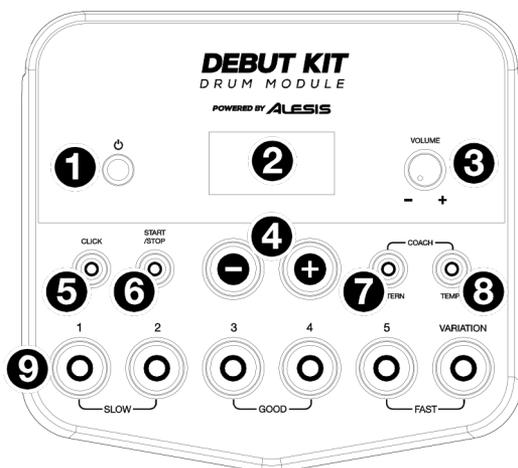
マジックテープでケーブルをまとめます。



付属のドラムキーで図のようにドラムパッドのメッシュヘッドを緩めたり、反対にきつく締めたりすると、テンション調節をすることができます。

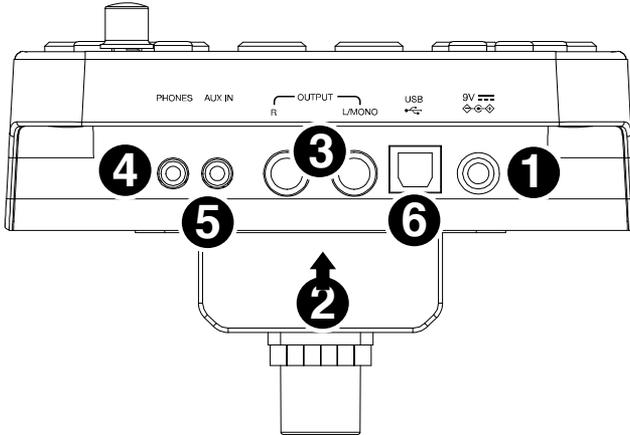
テンションがきつくなるほど、ドラムヘッドのリバウンドとレスポンスが高まります。それではドラムプレイをお楽しみください！





1. **電源ボタン**：このボタンを押すとドラム・モジュールの電源がONになります。OFFにする場合には、このボタンを約2秒間押したままにします。
2. **ディスプレイ**：ドラム・モジュールの機能や操作に関連する数値やテキストが表示されます。
3. **VOLUME ノブ**：メイン出力またはヘッドホン出力の音量を調整します。
4. **-/+**：ディスプレイに表示されている値が増減します。
5. **クリックボタン**：メトロノームのON/OFFの切替ができます。詳しくは、[メトロノーム\(クリック\)を使用する](#)をご参照ください。
6. **スタート/ストップ・ボタン**：パターンの再生・停止ができます。詳しくは、[パターンに合わせて演奏する](#)をご参照ください。
7. **パターン・ボタン**：パターンモードに入ることが出来ます。パターン・ボタンとテンポ・ボタンを同時に押すと内蔵のドラムコーチ機能を使用することが出来ます。詳しくは、[パターンに合わせて演奏する](#)または[内蔵ドラム・コーチを使用する](#)をご参照ください。
8. **テンポ**：テンポモードに入ることが出来ます。-/+ ボタンでテンポの調整ができます。詳しくは、[メトロノーム\(クリック\)を使用する](#)または[内蔵ドラム・コーチを使用する](#)をご参照ください。
9. **1-5/バリエーション・ボタン**：キットモードに入り、キットを選択することが出来ます。内蔵ドラム・コーチを使用する場合にはエクササイズ選択に使用します。詳しくは、[キットを使用する](#)または[内蔵ドラム・コーチを使用する](#)をご参照ください。

リアパネル



1. **電源コネクタ**：付属の電源アダプターをここに接続します。
2. **スネークケーブル入力端子**：付属のスネークケーブルでこの端子とドラムキット（ドラムパッド、シンバルパッド、ペダル）を接続します。
3. **メイン出力端子**：ご使用になるモニタリングスピーカー、アンプ、PA システムなどこの出力端子を標準 1/4 インチ MONO ケーブル（別売）で接続します。出力音量は、トップパネルの **VOLUME ノブ** で調整します。
4. **ヘッドホン出力端子**：1/8 インチ・ステレオヘッドホン（別売）をこの出力端子に接続します。出力音量は、トップパネルの **VOLUME ノブ** で調整します。
5. **AUX 入力端子**：スマートフォン、CD プレーヤーなどの外部オーディオデバイスとこの入力端子を 1/8 インチ・ステレオケーブル（別売）で接続します。
6. **USB ポート**：ご使用のコンピュータとこのポートを標準 USB ケーブル(別売)で接続し、コンピュータと MIDI メッセージを送受信します。詳しくは、**MIDI** をご参照ください。

操作

パッドで演奏する

色々な強さでパッドを叩き、サウンドモジュールにどんな音が入っているのか確認してみましょう。

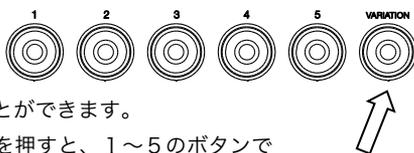
ハイハットサウンドの鳴らし方は、ハイハットペダルの踏み方によって異なります。

- **オープンハイハット**：ペダルを踏まずにハイハットパッドを叩きます。
- **クローズドハイハット**：ペダルを踏み込んでハイハットパッドを叩きます。
- **ペダルクローズ**：ハイハットパッドを叩かずにペダルを踏み込みます。
- **スプラッシュ**：素早くペダルを踏み込み、すぐにペダルをリリースします。

キットの選択

下記のいずれかの操作で、10種類のプリセットから使用するキットを選択します。

- **バリエーション・ボタン**を押すとボタンを赤色に点灯します。この状態で1～5のボタンを押すと**1から5のキット**を選択することができます。
- 緑色に点灯するまで**バリエーション・ボタン**を押すと、1～5のボタンで**6から10のキット**を選択することができます。



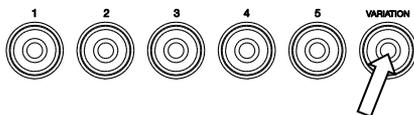
選択中のキットナンバーはディスプレイに表示されます。- / + ボタンを使ってキットを切り替えることもできます。

キットの音量を調整する

各キットの音量を調節するには：

1. 次のいずれかの操作を行います。：

- **バリエーション・ボタン**を赤色に点灯させた状態で、**キット 1～5**の中から音量を調整したいキットのボタンを2回押します。
- **バリエーション・ボタン**を緑色に点灯させた状態で、**キット 6～10**の中から音量を調整したいキットのボタンを2回押します。



2. ディスプレイには音量レベルが表示されます(L00 - L32)。- / + ボタンを使用してキットのボリュームを調整することが出来ます。(デフォルト値はL28)。



3. 操作をせずに4秒経過するとドラム・モジュールは自動的に新しい設定を保存します。

パターンに合わせて演奏する

パターンの選択とプレイ

30種のプリセットパターンからプリセットを選択するには：

1. **パターン・ボタン**を押すとパターンモードに入ります。パターンモード中はボタンが点灯し、ディスプレイには選択中のパターン番号が表示されます。
2. **-/+** ボタンでパターンを選択します。(+/+ボタンを長押しすることでパターンをスクロールできます。)
3. **スタート・ストップボタン**を押すと、パターンの再生が開始されます。.
4. パターンに合わせて演奏します。
5. **スタート・ストップボタン**を押すと、パターンが停止します。



パターンの音量を調整する。

各パターンの音量を調整する方法:

1. **パターン・ボタン**を2回押します。
2. **ディスプレイ**に音量レベルが表示されます(00 ~ 32)。-/+ ボタンを使用すると、パターンの音量を調整することが出来ます。(デフォルト値は 25)。



メトロノームを使用する(クリック)

内蔵ドラム・コーチまたはパターンで練習する際、テンポを保つために内蔵のメトロノーム(クリック)を使用することができます。メトロノームのテンポ(スピード)、音量、サウンド、拍子を変更することができます。

メトロノームのオン・オフ

クリック・ボタンを押すと、メトロノームの ON/OFF の切替が出来ます。



メトロノームのテンポを調整する

メトロノームのテンポ(速さ)を調整する方法:

1. テンポボタンを押します。
2. ディスプレイに、現在設定されているテンポ(30 ~ 280)が、BPM ("beats per minute")で表示されます。-/+ ボタンを使用してテンポを調整します。
3. なにも操作をせず4秒経過すると、サウンドモジュールは新しい設定を自動で保存します。



メトロノームの音量を調整する

メトロノームの音量を調整する方法:

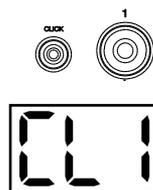
1. クリック・ボタンを2回押します。
2. ディスプレイに音量レベルが表示されます(L00 ~ L32)。-/+ ボタンを使用してメトロノームの音量を調整することが出来ます。(デフォルト値は L25)。
3. なにも操作をせず4秒経過すると、サウンドモジュールは新しい設定を自動で保存します。



メトロノームの音を変更する

メトロノームの"クリック"音を変更する方法:

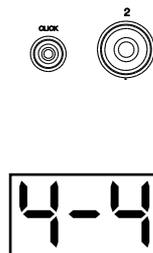
1. クリック・ボタンと1ボタンを同時に押します。
2. ディスプレイにCL (クリック) とクリック音の番号(**CL1 – CL5**)が表示されます。- / + ボタンを使ってクリック音が変更出来ます。:
 - **CL1**: チャイム&クリック (デフォルト)
 - **CL2**: クラベス
 - **CL3**: サイドスティック
 - **CL4**: カウベル
 - **CL5**: ポーカル
3. なにも操作をせず4秒経過すると、ドラム・モジュールは新しい設定を自動で保存します。



メトロノームの拍子を変更する

メトロノームの拍子を変更する方法:

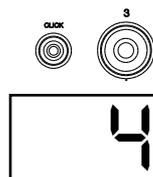
1. クリック・ボタンと2ボタンを同時に押します。
2. ディスプレイに現在選択されている拍子が表示されます。- / + ボタンを使用すると、**1/2**、**2/2**、**3/4**、**4/4**、**6/8** から拍子を選択することができます。
3. 何も操作をせずに4秒経過すると、ドラム・モジュールは新しい設定を自動で保存します。



メトロノームのインターバルを変更する

メトロノームの1クリックの長さの変更方法:

1. クリックボタンと3ボタンを同時に押します。
2. ディスプレイに現在選択されているインターバルが表示されます。- / + ボタンを使用すると、**2** (二分音符)、**3** (三連符)、**4** (四分音符)、**6** (六連符)、**8** (8分音符)、**16** (16部音符) から設定を変更することができます。インターバルは、デフォルトでは**4** (四分音符) に設定されています。
3. 何も操作をせずに4秒経過すると、ドラム・モジュールは新しい設定を自動で保存します。



内蔵ドラム・コーチを使用する

内蔵ドラム・コーチには、ドラムプレイにおける正確さ、持久性、テンポの感覚を向上させるための5種類のエクササイズ (**Beat Check**、**Gradual Up/Down**、**Rhythm Change Up**、**Follow Me**、**Drum Mute**) が含まれています。

内蔵ドラム・コーチを使用するには、**パターン・ボタン**と**テンポ・ボタン**を同時に押してください。次に、**1~5** から選択したいエクササイズのボタンを押します。ディスプレイには、選択したエクササイズが表示されます：

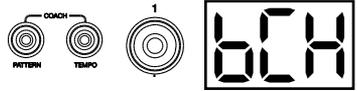
1. Beat Check (**bCH**)
2. Gradual Up/Down (**GUd**)
3. Rhythm Change Up (**C-U**)
4. Follow Me (**FLo**)
5. Drum Mute (**d-U**)

Beat Check を使用する

このエクササイズは、タイミングの感覚と、メトロノームと正確に合わせて演奏することを練習します。

Beat Check を使用するには：

1. **パターン・ボタン**と**テンポ・ボタン**を同時に押し、その後**1** ボタンを押してください。

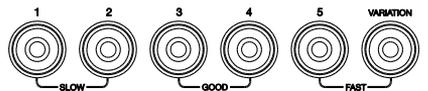


2. メトロノームの拍子とインターバルを設定してください。詳しくは、[メトロノーム\(クリック\)を使用する](#)をご参照ください。



3. **スタート/ ストップ・ボタン**を押します。

4. メトロノームのタイミングに合わせてパッドを叩いてください。6 つの LED は、どれくらい (タイミングに対して) 正確であるかを表示します。



- ビートに正確である場合は、**3** と **4** ボタンが点灯します。
- ビートから少し離れている場合、**2** と **5** ボタンが点灯します。
- ビートから離れている場合、**1** と **バリエーション・ボタン**が点灯します。
- ビートと完全に一致している場合、ボタンは点灯しません。

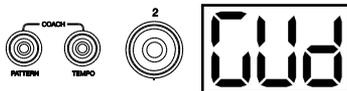
5. 停止させるには、もう一度**スタート/ ストップ・ボタン**を押します。

Gradual Up/Down を使用する

Gradual Up/Down は、正確なタイミングでプレイできているか評価します。

Gradual Up/Down を使用するには：

1. パターン・ボタンとテンポ・ボタンを同時に押し、その後 **2** ボタンを押してください。



2. メトロノームの拍子とインターバルを設定してください。
詳しくは、[メトロノーム\(クリック\)を使用する](#)をご参照ください。

3. **スタート/ ストップ・ボタン**を押します。



4. 以下のいずれかの操作を行ってください。：

- **G-1 モード**を選択する： **1** ボタンを押す。

このモードでは、ドラムプレイの正確性に依じて

4 小節ごとにテンポを 5 BPM ずつ自動的に増減させます。

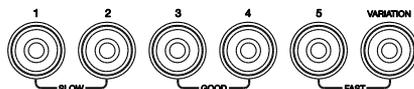


- **G-2 モード**を選択する： **2** ボタンを押す。

このモードでは、テンポを小節ごとに 1BPM ずつ自動的に増減させます（スタートは、設定されているテンポです）。



5. メトロノームに合わせてパッドを叩いてください。 **1 ~ 5 とバリエーション・ボタン**の計 6 個の LED は、どれくらい（タイミングに対して）正確であるかを表示します。



- 叩くタイミングがメトロノームに対して正確である場合は、**3** と **4** ボタンが点灯します。
- 叩くタイミングがメトロノームと少しずれている場合、**2** と **5** ボタンが点灯します。
- 叩くタイミングがメトロノームに対して大幅にずれている場合、**1** と **バリエーション・ボタン**が点灯します。
- 叩くタイミングがメトロノームと完全に一致している場合、ボタンは点灯しません。

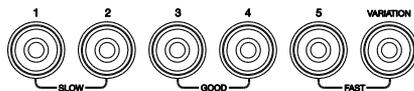
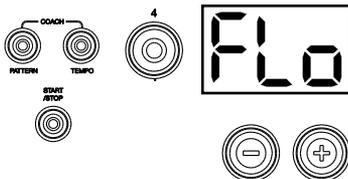
6. 停止させるには、もう一度**スタート/ ストップ・ボタン**を押します。

Follow Me を使用する

Follow Me は、聞こえるサウンドによって異なるドラムを聞き分け、全体のドラムキットを使用したドラムのリズム構成を覚え、練習することに役立ちます。このエクササイズでは、ドラム・ループが繰り返しになり、(1) ドラム・パターンによる演奏と、そして (2) 同じ長さのメトロノーム・トラックに合わせてドラムパターンを自分でプレイすることを交互に行なうことができます。

Follow Me を使用するには：

1. **パターン・ボタン**と**テンポ・ボタン**を同時に押し、その後**4**ボタンを押します。
2. **スタート/ストップ・ボタン**を押します。
3. +/- ボタンを押し、プレイしたいドラム・パターンを選択します。
4. **スタート/ストップ・ボタン**を押します。
5. ドラムパターンを聞き、どのパッドを叩けば同じ演奏ができるかイメージします。続けて流れるメトロノーム・トラックに合わせて同じドラム・パターンを演奏してください。**ディスプレイ**にはテンポが表示されます。**1 ~ 5/バリエーション・ボタン**の6個のLEDは、再現したドラム・パターンの正確さを表示します。
6. 停止させるには、もう一度**スタート/ストップ・ボタン**を押します。

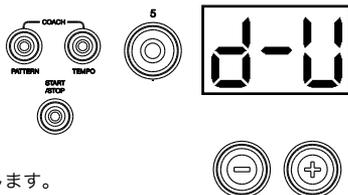


Drum Mute を使用する

Drum Mute は、ドラムパターン内の特定のパーツをミュートし、残りの部分を自由にプレイすることができます。

Drum Mute を使用するには：

1. **パターン・ボタン**と**テンポ・ボタン**を同時に押し、その後**5**ボタンを押します。
2. **スタート/ストップ・ボタン**を押します。
3. +/- ボタンを押し、プレイしたいドラム・パターンを選択します。
4. **1 ~ 5/バリエーション・ボタン**を押して1つ以上のサウンドを選択し、ミュートすることができます。
 - 1：キックドラム
 - 2：スネアドラム
 - 3：ハイハット
 - 4：タム
 - 5：クラッシュ&ライド・シンバル
 - バリエーション：パーカッション
5. **スタート/ストップ・ボタン**を押します。
6. 再生を開始したドラム・パターンに沿って、自由に演奏してください。ドラム・パターンは上記手順4で指定したパートをミュートして再生されるので、あなたがその一部をプレイすることができます。
7. 停止させるには、もう一度**スタート/ストップ・ボタン**を押します。



オート・パワーオフ

ドラム・モジュールの電源は、何も操作されないまま30分を過ぎると電力節約のために自動的にOFFになります。この機能が不要な場合は、一度ドラム・モジュールの電源をOFFにし、その後**スタート/ストップ・ボタン**を押しながら再度電源をONにすると無効にすることができます。PoFは、この機能がOFFになっていることを示します。

注：電源をOFFにしてもこの機能は有効です。無効に切り替えるには上記の手順を繰り返してください。

MIDI

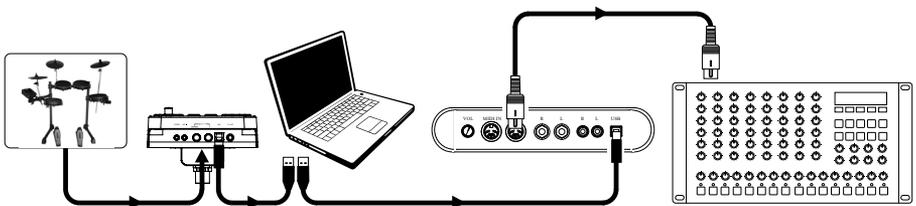
MIDI について

MIDI (Musical Instrument Digital Interface) は、特定の電子楽器が互いに通信を行なうことができる規格です。2台のMIDI機器が接続されている場合、それらは5ピンMIDIケーブル、またはUSBケーブルによって、MIDIメッセージ、データ、インフォメーションを送受信することができます（機器によって使用できるポートは異なります）。

本機は、別売の標準USBケーブルを使用してコンピュータのUSBポートと接続することができます。すべてのMIDIメッセージは、この接続を通してコンピュータから移送されます。MIDIを使用すると、以下の2つ内の1つを実行可能です：

- **外部MIDI機器のサウンドをトリガーするためにドラム・モジュールに接続された電子ドラム・キットを使用する**（例：シーケンサーやコンピューター等、ソフトウェアがMIDIノートを受信できる場合）。詳しくは、下記の**外部MIDI機器のサウンドをトリガーする**をご参照ください。
- **ドラム・モジュールのサウンドをプレイするために外部MIDI機器を使用する**。詳しくは、下記の**サウンド・モジュールとしてドラム・モジュールを使用する**をご参照ください。

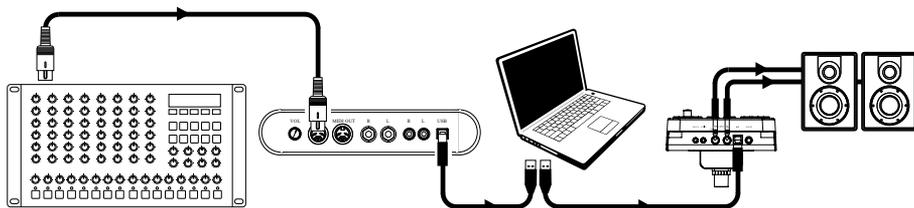
外部MIDI機器のサウンドをトリガーする



1. USBケーブル（別売）を使用して、お使いのコンピューターとドラム・モジュールのUSBポートを接続してください。
2. モジュールがドラムサウンドをプレイするためのソフトウェアを使用している場合、次のステップに進んでください。ドラム・モジュールのサウンドをプレイするために**外部MIDI機器を使用している場合は**、そのデバイスがコンピューターに（直接接続、またはUSB-MIDIインターフェイスを使用して）接続されていることを確認してください。
3. お使いのMIDIソフトウェア、シーケンサーのトラックをチャンネル10に設定し、レコーディングを開始します。

4. ドラムキットを使用して演奏します。MIDI 情報は、コンピューターやシーケンサーに送信されます。各トリガーによって送信される MIDI ノートのリストについては、本マニュアルの付録に記載されているトリガー MIDI ノートをご参照ください。.
5. レコーディングを停止します。

サウンド・モジュールとしてドラム・モジュールを使用する



1. USB ケーブル（別売）を使用して、お使いのコンピュータとドラム・モジュールの USB ポートを接続してください。.
2. モジュールがドラムサウンドをプレイするためのソフトウェアを使用している場合、次のステップに進んでください。ドラム・モジュールのサウンドをプレイするために外部 MIDI 機器を使用している場合は、そのデバイスがコンピューターに（直接接続、または USB-MIDI インターフェイスを使用して）接続されていることを確認してください。
3. MIDI ソフトウェアのトラックを作成し、必要なチャンネル（1 ~ 16）に設定してください。

注：通常チャンネル 10 は、ドラムのために使用されます。

4. ドラム・モジュールに内蔵されたサウンドを聞くためにシーケンサーなどの外部機器を再生します。

付録

技術仕様

キット	プリセットキット x 10、GM キット x 5
シーケンサー	30 パターン、Follow Me パターン x 12
解像度	192 (4 分音符あたり)
最大同時発音数	64
ディスプレイ	3 桁 LED
テンポ	30 - 280 BPM
端子	25 ピン・トリガー入力端子 (スネークケーブル用) 1/8" ステレオヘッドホン端子 1/4"メイン出力端子 (L/MONO - R) 1/8" ステレオ外部入力端子 USB 端子(MIDI) 電源コネクタ
電源	9 V, 500 mA, センタープラス
サイズ (W x H x D)	147 mm x 183 mm x 112 mm (サウンドモジュールのみ)
重量	0.5 kg (サウンドモジュールのみ)

※仕様は予告なく変更になる場合がございます。

商標及びライセンス

Alesis は、inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。その他すべての製品名あるいは会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

alesis.com